

No. 2397 高見山 (1,248.9m)

2014年1月19日(日)

参加者：岡本(L) 大西 小俣 佐々木裕 佐藤 鳴原 中島 片山琴美(記)

12月の会報を見た時から高見山は行くと、決めていました。1週間前になると毎日天気予報が気になる。悪い予報ばかり、同居人は「山は荒れるぞ」と心配しているが行くと決めた気持ちは変わらない。

当日、榛原駅を出ると「高見山・三峰山行きのバスが出ますよ」と声が掛かる。バスも次々と出て居る様だ。カクテルの参加者はすでに揃っていた。8時30分出発、榛原の町を出て、L166号を走り9時過ぎにたかすみ温泉駐車場に着きました。

9時30分身仕度をして出発。前を流れる平野川の川辺に降りて右に見える赤い丹の浦橋を渡って左折、足元に注意しながら川沿いに行く、橋を渡り、更に左からの支谷を横切って山裾を進む。

堰堤が見えて来た所でコースは左へ、木の階段登りとなる。植林の中をぐんぐん登って尾根に出ると高見の頭が見えた。しばらく平坦な道を進んで源流を渡り谷沿いを行き小谷を渡って高見杉避難小屋の前に出る。木製の古い鳥居が建っている。休憩をしてアイゼンを着ける。

10時45分小屋を出る。少しの間雪まじりの石ころ道、折角アイゼンを着けたのに… と思いながら登る。支谷を渡り植林小屋を見て山腹を登りつめると杉谷からの道と合流する。この辺りで植林帯から灌木林へと変わる。雪柳の様な樹氷が風に揺れている。弛んだアイゼンを締め直す。風当たりも強くなってきた。国見岩も揺ぎ岩も雪を被って居る。早々と下山して来る人に出会うと「上はもっと凄いや、飛ばされるよ」と忠告される。

やがてコースは南側を巻いて細々と続く。女子グループが降りて来た、待つ気配が無い。斜面によって待っていると「私達が避けんといかんのに…」と言ったので「知っていながら何故通る」と言ったら「御免・ごめん」と笑って通り過ぎた。それにしても以前はずっと尾根通しだったと思うんだが…。

一団が通り過ぎる人影が途絶えて、前に行く佐藤さんの姿丈が視界に入る。最後の急登だ。雪は深い。一步一步踏み跡を拾って登る。稜線に出た途端「わあー!!」行く人も来る人もない雪の道、樹氷のトンネルだ。佐藤さんも立ち止まり写真を撮る。ゆっくり、ゆっくり樹氷の中を進む。小屋が見えて来た。

待ち構えていたように強風が襲って来る。薄暗い避難小屋は入口まで、人で溢れている。

頂上の高角神社に参拝する(12時15分)。雪に埋もれた鈴を引っぱり出して振ると「ガラガラ」と湿った音が雪に吸い込まれて行く。

写真を撮っていた人達も次々と登って来た。鳴原さんと大西さんの姿が無い。揺岩の所で大西さんの足がおかしくなって降りたとの事、惜しいなあー。もう少しだったのに、でも無理をせずに下山を決めたのは良かったと思いました。又来ればよいのだから…。

風当たりの少ない社の後ろで行動食を補い、早々に下る事にする。小屋に入った中島さん呼びに行った佐々木さんも出て来ない。登って来る人が多くなって来た。強風の中、待つ居られない。

岡本さん、小俣さんは人と風を避けて南面の深雪の中を降りて行く。転べば谷底まで行きそうだな…と思いながら私も降りて見た。脛までの雪は意外に軽くて暖かい。コースと交わって少し歩くと又登って来るグループに合う。今度は灌木の中を行くと「雪崩や」と言われる。一行が通り過ぎると、もう登って来る人も少なくなり、ジグザグ斜面を快調に下る。アッと思った途端に前のめりに転がった。幸いかすり傷も打撲なかったが…雪のおかげで… いえ いえ転び方にも年季が入ってますので…。



少し歩くと、おや？ 右のアイゼンがジグザグになって居る。アイゼンを外す。足が軽くなってほっとする。避難小屋に着いて鳴原さん、大西さんと合流。

休憩をして佐々木さん、中島さんを待つがなかなか来ない。見落としたのかなあ… とにかく駐車場迄行く事にする。少し登って緩やかに下って行く。駐車場に戻っても、やはり2人は帰って居なかった。帰り仕度をして待っていると2人は仲良く帰って来た。ああよかった。

15時半頃、たかすみの里を出発、帰路に着く。山村の美しい冬景色を見ながら、もう最後の高見かなあ… と思う。

私が初めて高見に登ったのはもう半世紀以上も昔、1961年12月24日、前日は杉谷の宿に泊まり、翌日、明神迄、縦走した。当時の山頂の社は今より大きく立派だったけれど避難小屋はなかった。あ

れから何度登った事か。新品のプラ靴で高見から大天狗、桃俣へ出た時の足の痛ーい思い出。池の木屋山から縦走して大峠から高見へ登った時、疲れと暑さで後5分と言われても足が前に出なかったフラフラな思い出等、そして今日の高見の素晴らしい樹氷のトンネルと飛ばされそうな強風の寒ーい思い出も記憶に残るでしょう。

16時10分榛原駅に着きました。岡本さん鳴原さん、車の提供と運転、本当に御苦労さま。有難う御座いました。同行の皆様お疲れ様でした。又会いましょう…。

*コースタイム (岡本氏提供)

榛原駅 = たかすみ温泉駐車場 = 高見杉避難小屋 = 杉谷分岐 = 国見岩 = 高見山

8:30 → 9:10=9:30 → 10:30=10:40 → 11:15 → 11:45 → 12:20=12:30

杉谷分岐 = 高見杉避難小屋 = たかすみ温泉駐車場 = 榛原駅

12:55 → 13:25=13:50 → 14:30=15:30 → 16:16